

「GX検定」を活用した1,000名規模のGX人材育成へ。TOPPAN ホールディングスの新たな取り組み

事例公開：



「GX検定」を活用した1,000名規模のGX人材育成へ。
TOPPANホールディングスの新たな取り組み

2026/9

環境省認定制度の3段階すべてで認定を取得した国内唯一の検定「GX検定」を運営する株式会社 Beyond(本社：東京都千代田区、代表取締役社長兼CEO：田原 真一、以下Beyond)は、TOPPANホールディングス株式会社(本社：東京都文京区、代表取締役社長COO：大矢 諭、以下TOPPANホールディングス)におけるGX人材育成の取り組み事例を公開しました。

概要

TOPPANホールディングスでは、全社的なサステナビリティ経営を推進するため、グループ全体のGXリテラシー底上げと現場での実践力強化に取り組んでいます。その一環として、「GX検定」を活用し、初級(ベーシック)から中級(アドバンスト)、専門レベルへと着実にステップアップする学習体系の整備を進めてきました。

人事部門による現場伴走型の支援と丁寧なフォローを通じて全社的な学びを定着させた結果、継続的な資格取得が進み、受講者の80%以上が学んだ知識を実務に活用できると回答するなど高い効果が表れています。

さらに単なるリテラシー向上にとどまらず、営業現場において「価格勝負」から「環境貢献」を軸とした顧客提案への転換が進み、コンペ獲得など具体的な事業成果を創出しています。なお、本施策を通じてこれまでに累計約1,000名の社員が「GX検定」の資格を取得しています。

▼本取り組みのインタビュー全文はこちら

[・「予想を上回る応募」はなぜ起きたのか——TOPPANホールディングスの人事が語る、GX人材1,000人育成の舞台裏](#)

[・「価格」ではなく「環境貢献」で選ばれる。TOPPAN営業担当者がGX知識をコンペの切り札に変えるまで](#)

背景と課題

現在、国内では2050年カーボンニュートラルや2030年度の削減目標に向け、社会全体の脱炭素化が加速しています。こうした流れを受け、TOPPANホールディングスでも「TOPPANグループ環境ビジョン2050」のもと、温室効果ガス排出実質ゼロを目指すサステナビリティ経営を強力に推進しています。この経営方針の全社浸透を支えるGX人材育成の一環として、2024年度後期より「GX検定」の資格取得推進を開始しました。全社的なGXリテラシー向上を目指し、受講枠を「部門教育（各部署の選抜による受講）」と「自己啓発（社員自身の自律的な申請）」の2種類に分けて展開を開始しました。しかし、受講者の拡大に伴い、主体的な自己啓発層と比べて、部門教育で受講する社員の一部で「受けさせられている感」が生じてしまい、社員間でのモチベーションの温度差が新たな課題となっています。また、営業現場では、「環境配慮」への意識はあるものの、「なぜ今GXなのか」という社会的背景への理解が不足しており、提案が単なるコスト削減や価格勝負に留まる一因となっていました。国や顧客の2030年・2050年目標に寄与するためにも、環境価値を強みとした提案スタイルへのシフトが急務です。

取り組み

これらの課題に対し、TOPPANホールディングスの人事労政本部人財開発部は、単に教育制度を設けるだけでなく「現場巻き込み型の伴走支援」と「段階的な学習体系の構築」を強力に推進しました。

- 導入前の「事前対話」による現場の巻き込み
制度導入前に営業・企画・サステナビリティ推進などの主要部署へ直接足を運び、実務での課題や活用イメージを丁寧にヒアリングしました。人事のみで完結させず現場の声を設計に反映したことで、現場の納得感を伴う全社施策として展開しました。
- 受講者への丁寧な「個別伴走と前向きな声かけ」
受動的になりがちな受講者に対し、システムの一括通知ではなく進捗に合わせた個別の伴走支援を実施。受験まで丁寧にフォローをし、最後まで伴走し続けたことが受験率や合格者数を押し上げる要因になりました。

成果

人事主導による現場伴走と段階的な学習体系の導入により、人材育成と営業現場の双方で成果が生まれています。

- 人材育成での成果：実務活用度が最高**88%**へ向上、自走する学習の好循環を創出

GX検定取得後のアンケートでは、学んだ知識を実務に「活用できる」との回答が初級（ベーシック）で84%、中級（アドバンス）で88%に達し、現場での実践力が大きく向上しました。また、管理者から部下への受講推奨や社内の口コミによる応募が増加するなど自走的な学習環境が定着しています。なお、グループでの累計のGX検定資格取得者は約1,000名に達し、有価証券報告書等にも実績として掲載されています。

- 営業現場での事業成果:「環境貢献」提案による価格競争からの脱却

営業の現場では、単なる価格勝負から「CO2削減率」などの具体数値と社会的根拠を伴った提案へと進化。価格競争に陥ることなく、「環境貢献」という新たな価値軸で顧客に選ばれる提案スタイルを実践しています。

- 現場の声が後押しする、アドバンスへのステップアップ

「GX検定ベーシック」導入後、全社的な「共通の土台」が形成されたことで、社員の関心や「学びを次につなげたい」という反応が社内全体へ広がり始めました。実際に、部署を問わずさまざまな組織から「より実践的なアドバンスレベルも学びたい」という声が続出し、中級（アドバンス）へのステップアップが広がりがつつあります。

今後の展望

TOPPANホールディングスでは、全社的なGXリテラシーの底上げに向けた基盤強化を継続するとともに、単に資格取得者を増やすことにとどまらない「現場での実践化」に注力しています。資格取得者が営業や商談、商品企画などの現場で知識をどう活用しているかといった事例を収集し、社内イントラネット等を通じて全社へ横展開していく方針です。実務での具体的な活用ストーリーを共有することで、既存取得者のさらなる実践を促すとともに、これから学ぶ社員にとっても「学ぶ意義」を身近に実感できる好循環の定着を目指しています。

Beyontは今後も、人事部門に閉じず、事業部門と連携した「事業連動型」のサステナビリティ人材育成をパートナーとして後押しし、TOPPANホールディングスの事業競争力強化や顧客への環境価値創出に貢献してまいります。

■GX検定 ベーシックについて

GX検定 ベーシックは、環境省認定制度「脱炭素アドバイザー ベーシック」認定のGX入門レベルの検定です。リテラシーとして身につけておくべき内容を網羅的に押さえ、断片的なキーワード理解から抜け出し、GXの体系的な基礎知識を習得できます。

https://green-transformation.jp/gx_certification/basic/

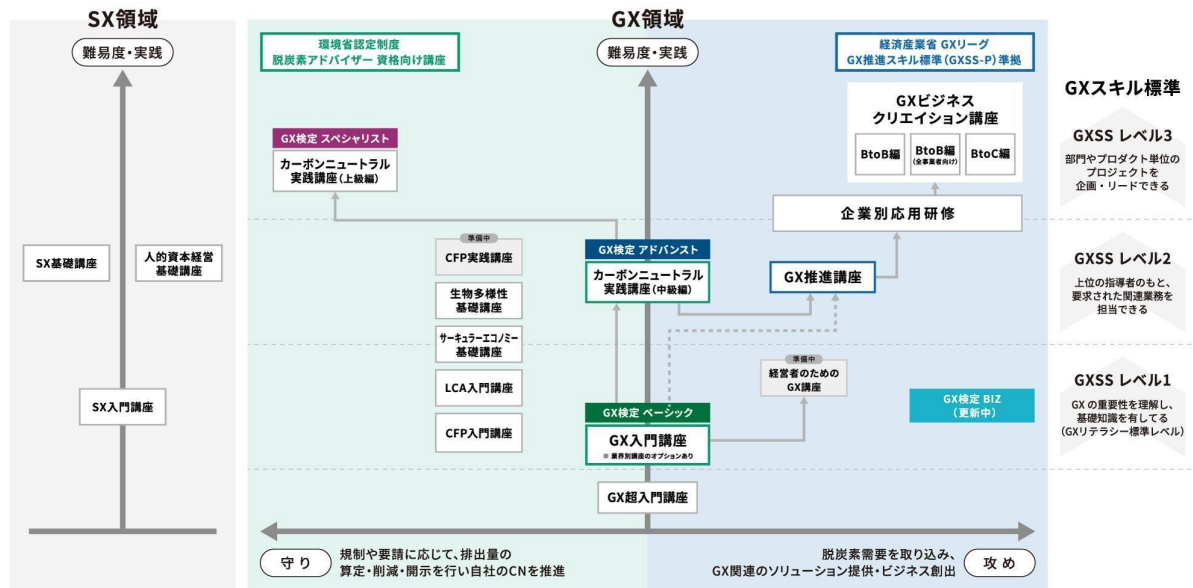
■株式会社Beyont（旧社名：スキルアップNeXt）について

株式会社Beyontは、「スキルアップGreen」でGXを体系的に学べる講座や、GX推進に必要な知識やスキルを測る「GX検定」で企業のGX推進をワンストップでサポートしています。

経産省主導のGXリーグにおいて、2024年度よりGX人材市場創造WGを立ち上げ、リーダー企業として、GX人材の役割や必要なスキルを定義した「GXスキル標準」を策定しました。

<https://green-transformation.jp/>

スキルアップGreen 講座マップ



【会社概要】

設立: 2018年

代表取締役社長兼CEO: 田原 真一

所在地: 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2丁目40-5

URL: <https://beyont.jp>

事業内容:

- ・AI事業 (AI開発・実装、人材育成・組織開発、定着・運用支援)
- ・GX事業 (戦略策定、人材育成、GX検定の企画・運営)
- ・量子事業 (量子コンピューティング関連サービスなど)